

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立東部特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立東部特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	90人

1. 使用状況

寄贈物品名	電子黒板
使用学年及び人数	高等部1～3年 生徒数 17人
使用頻度	毎日
使用状況	<p>本年度、授業等で電子黒板を活用した場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンやタブレットPCと連携してデジタル教材を活用 (PDF、パワーポイント、写真、動画等) ・ビデオや顕微鏡の画像をキャプチャーして、生徒に見せたい重要な場所を提示 ・各生徒が使用するパソコンやタブレットPCの画面と連携した対話的な授業 ・遠隔交流 (中央特支、伊豆中央高、田方農業高) や遠隔社会科見学 (三内丸山遺跡 青森) 等の遠隔授業で活用 ・実習を励ます会やホームルーム等の生徒が集まる場面で活用 ・ウェビナー、各研修や各会議等で活用
物品の使用による変化や効果	<p>電子黒板は主に高等部教科職業コースで使用。電子黒板が来る前は、PDFやパワーポイント等のデジタル教材の活用は、あまり活発ではなかった。今回寄贈していただいた、高性能で使いやすい電子黒板が来たことにより、皆積極的に使用されるようになった。生徒達も授業が分かりやすいため、楽しく学習している。今まで使っていたプロジェクターと違い、明るい場所でも画面が見えやすいため、とても分かりやすいと大変好評である。</p> <p>最近では、今まで電子黒板を使っていなかった教師も、電子黒板を使った授業が有効であることの認識が広がり、毎日どこかの教室で使用されている。また、高等部の電子黒板活用を見た小中学部の教師達も、今後、電子黒板を使用したいと希望が出ている。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>今回の電子黒板寄贈により、本校全体に、ICTを使った教育活動が、「非常に有効である」と、意識を高めることができた。</p> <p>GIGAスクールの時代において、電子黒板は核となるデバイスになるため、おおいに活用して、より良い授業にしていきたい。</p>
その他希望や所感など	<p>寄贈していただいた電子黒板が、本校の学びの場で大いに役に立っている。電子黒板は、とても見えやすく分かりやすいため、生徒達にとっても喜ばれた。また、コロナ渦で校外学習が難しくなった今、電子黒板が大いに活躍しており、相手の顔が見えやすい、リモート交流活動ができた。電子黒板を活用したこれらの授業は、今後の教育活動に大いに役立つものとなった。</p>

2. 活用の様子



田方農業高等学校との電子黒板を使ったリモート交流の様子

電子黒板は、画面をキャプチャーしたり、写真の上に字を書いたり線を引いたりできるので、とても分かりやすい。

机に新聞紙が引いてあるのは、ヒマワリの苗の植え方を、リモートで教わるために準備した。田方農業の生徒さんが、とてもやさしく丁寧に教えてくれた。



ALTの先生と英語の授業の様子

先生が用意した資料をすぐ使えるため、とても便利。また、電子黒板は英語の文字もはっきりみえる。ALTの先生も、電子黒板がとても使いやすいと言っていた。



中央特別支援学校と、高等部卒業後の進路について学習している様子

生徒達が使っているパソコンには、両校の生徒が書き込んだ、質問や感想がリアルタイムに表示される。電子黒板にも表示させることができるため、皆で共同学習をすることができた。